

総合問題② 財務諸表と連結修正仕訳との対応関係・個別利益と連結利益 B4

【個別財務諸表(平成 X 2 年度末～平成 X 3 年度)】

S 社貸借対照表
平成 X2 年 12 月 31 日 (単位:円)

諸 資 産	520,000	諸 負 債	300,000
		資 本 金	150,000
		利 益 剰 余 金	70,000
	520,000		520,000

S 社損益計算書
自平成 X3 年 1 月 1 日 至平成 X3 年 12 月 31 日 (単位:円)

諸 費 用	100,000	諸 収 益	160,000
当 期 純 利 益	60,000		
	160,000		160,000

※ S社は平成 X3 年 3 月に剰余金の配当 20,000 円を行っている。

S 社貸借対照表
平成 X3 年 12 月 31 日 (単位:円)

諸 資 産	560,000	諸 負 債	300,000
		資 本 金	150,000
		利 益 剰 余 金	110,000
	560,000		560,000

【連結修正後財務諸表(平成 X 2 年度末～平成 X 3 年度)】

S 社貸借対照表
平成 X2 年 12 月 31 日 (単位:円)

諸 資 産	520,000	諸 負 債	300,000
の れ ん	45,000	子 会 社 株 式	200,000
		利 益 剰 余 金(取得後剰余金)	10,000
		非 支 配 株 主 持 分	55,000
	565,000		565,000

S 社損益計算書
自平成 X3 年 1 月 1 日 至平成 X3 年 12 月 31 日 (単位:円)

諸 費 用	100,000	諸 収 益	160,000
の れ ん 償 却 額	5,000	受 取 配 当 金	▲ 15,000
非支配株主に帰属する当期純利益	15,000		
親会社株主に帰属する当期純利益	25,000		
	145,000		145,000

S 社貸借対照表
平成 X3 年 12 月 31 日 (単位:円)

諸 資 産	560,000	諸 負 債	300,000
の れ ん	40,000	子 会 社 株 式	200,000
		利 益 剰 余 金(取得後剰余金)	35,000
		非 支 配 株 主 持 分	65,000
	600,000		600,000

【仕訳一巡(連結第 2 年度期首～連結第 3 年度期首)】 (単位:円)

◆ 連結第 2 年度開始仕訳 (平成 X3 年 1 月 1 日) 親会社持分当期首残高

資本金当期首残高	150,000	子 会 社 株 式	200,000
利益剰余金当期首残高	70,000	利 益 剰 余 金(取得後剰余金)	10,000
の れ ん	45,000	非 支 配 株 主 持 分	55,000

※ 本試験では(借方)と(貸方)の利益剰余金当期首残高を相殺して下さい。

◆ 当期純利益の個別消去・連結振替 (本来の手続きではありません)

当 期 純 利 益	60,000	当 期 純 利 益	60,000
-----------	--------	-----------	--------

◆ 当期純利益の非支配株主への按分: 60,000 × 25% = 15,000

非支配株主に帰属する当期純利益	15,000	非支配株主持分当期変動額	15,000
-----------------	--------	--------------	--------

◆ のれんの償却

の れ ん 償 却 額	5,000	の れ ん	5,000
-------------	-------	-------	-------

◆ 配当金の相殺消去等

受 取 配 当 金	15,000	剰 余 金 の 配 当	20,000
非支配株主持分当期変動額	5,000		

◆ 連結第 3 年度開始仕訳 (平成 X4 年 1 月 1 日) 親会社持分当期首残高

資本金当期首残高	150,000	子 会 社 株 式	200,000
利益剰余金当期首残高	110,000	利 益 剰 余 金(取得後剰余金)	35,000
の れ ん	40,000	非 支 配 株 主 持 分	65,000

※ 本試験では(借方)と(貸方)の利益剰余金当期首残高を相殺して下さい。

総合問題② 財務諸表と連結修正仕訳との対応関係・色分けなし B4

【個別財務諸表(平成 X 2 年度末～平成 X 3 年度)】

S 社 貸借対照表

平成 X2 年 12 月 31 日 (単位：円)

諸 資 産	520,000	諸 負 債	300,000
		資 本 金	150,000
		利 益 剰 余 金	70,000
	520,000		520,000

S 社 損益計算書

自平成 X3 年 1 月 1 日 至平成 X3 年 12 月 31 日 (単位：円)

諸 費 用	100,000	諸 収 益	160,000
当 期 純 利 益	60,000		
	160,000		160,000

※ S 社は平成 X3 年 3 月に剰余金の配当 20,000 円を行っている。

S 社 貸借対照表

平成 X3 年 12 月 31 日 (単位：円)

諸 資 産	560,000	諸 負 債	300,000
		資 本 金	150,000
		利 益 剰 余 金	110,000
	560,000		560,000

【連結修正後財務諸表(平成 X 2 年度末～平成 X 3 年度)】

S 社 貸借対照表

平成 X2 年 12 月 31 日 (単位：円)

諸 資 産	520,000	諸 負 債	300,000
の れ ん	45,000	子 会 社 株 式	200,000
		利 益 剰 余 金 (取 得 後 剰 余 金)	10,000
		非 支 配 株 主 持 分	55,000
	565,000		565,000

S 社 損益計算書

自平成 X3 年 1 月 1 日 至平成 X3 年 12 月 31 日 (単位：円)

諸 費 用	100,000	諸 収 益	160,000
の れ ん 償 却 額	5,000	受 取 配 当 金	▲ 15,000
非 支 配 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	15,000		
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	25,000		
	145,000		145,000

S 社 貸借対照表

平成 X3 年 12 月 31 日 (単位：円)

諸 資 産	560,000	諸 負 債	300,000
の れ ん	40,000	子 会 社 株 式	200,000
		利 益 剰 余 金 (取 得 後 剰 余 金)	35,000
		非 支 配 株 主 持 分	65,000
	600,000		600,000

【仕訳一巡(連結第 2 年度期首～連結第 3 年度期首)】 (単位：円)

◆ 連結第 2 年度開始仕訳 (平成 X3 年 1 月 1 日)

資本金当期首残高 150,000 子会社株式 200,000

利益剰余金当期首残高 70,000 利益剰余金当期首残高 10,000

のれん 45,000 非支配株主持分当期首残高 55,000

※ 本試験では(借方)と(貸方)の利益剰余金当期首残高を相殺して下さい。

◆ 当期純利益の個別消去・連結振替 (本来の手続きではありません)

当期純利益 60,000 当期純利益 60,000

◆ 当期純利益の非支配株主への按分：60,000×25%=15,000

非支配株主に帰属する当期純利益 15,000 非支配株主持分当期変動額 15,000

◆ のれんの償却

のれん償却額 5,000 のれん 5,000

◆ 配当金の相殺消去等

受取配当金 15,000 剰余金の配当 20,000

非支配株主持分当期変動額 5,000

◆ 連結第 3 年度開始仕訳 (平成 X4 年 1 月 1 日)

資本金当期首残高 150,000 子会社株式 200,000

利益剰余金当期首残高 110,000 利益剰余金当期首残高 35,000

のれん 40,000 非支配株主持分当期首残高 65,000

※ 本試験では(借方)と(貸方)の利益剰余金当期首残高を相殺して下さい。

総合問題② 財務諸表と連結修正仕訳との対応関係・練習用 B4

【個別財務諸表(平成 X 2 年度末～平成 X 3 年度)】

S 社貸借対照表

平成 X2 年 12 月 31 日 (単位:円)

諸	資	産	520,000	諸	負	債	300,000
				資	本	金	150,000
				利	益	剰	余
<hr/>				<hr/>			
520,000				520,000			

S 社損益計算書

自平成 X3 年 1 月 1 日 至平成 X3 年 12 月 31 日 (単位:円)

諸	費	用	100,000	諸	収	益	160,000		
				当	期	純	利	益	60,000
								160,000	
<hr/>				<hr/>					
				160,000					

※ S 社は平成 X3 年 3 月に剰余金の配当 20,000 円を行っている。

S 社貸借対照表

平成 X3 年 12 月 31 日 (単位:円)

諸	資	産	560,000	諸	負	債	300,000
				資	本	金	150,000
				利	益	剰	余
<hr/>				<hr/>			
560,000				560,000			

【連結修正後財務諸表(平成 X 2 年度末～平成 X 3 年度)】

S 社貸借対照表

平成 X2 年 12 月 31 日 (単位:円)

諸	資	産	520,000	諸	負	債	300,000
				<hr/>			
				<hr/>			
<hr/>				<hr/>			

S 社損益計算書

自平成 X3 年 1 月 1 日 至平成 X3 年 12 月 31 日 (単位:円)

諸	費	用	100,000	諸	収	益	160,000
				<hr/>			
				<hr/>			
<hr/>				<hr/>			

S 社貸借対照表

平成 X3 年 12 月 31 日 (単位:円)

諸	資	産	560,000	諸	負	債	300,000
				<hr/>			
				<hr/>			
<hr/>				<hr/>			

【仕訳一巡(連結第 2 年度期首～連結第 3 年度期首)】(単位:円)

◆ 連結第 2 年度開始仕訳 (平成 X3 年 1 月 1 日)

◆ 当期純利益の個別消去・連結振替 (本来の手続きではありません)

◆ 連結第 3 年度開始仕訳 (平成 X4 年 1 月 1 日)

◆ 当期純利益の非支配株主への按分

◆ のれんの償却

◆ 配当金の相殺消去等